

Luxonus（ルクソナス）「光超音波イメージング装置 LME-01」の医療機器製造販売承認を取得

株式会社Luxonusは、無被ばく・非造影で微細な血管を3次元で高解像度に可視化できる「光超音波イメージング装置 LME-01」について、医薬品医療機器総合機構（PMDA）による審査を経て、2022年9月15日に医療機器製造販売承認（承認番号30400BZX00212000）を取得いたしました。

LME-01は、本邦初の光音響原理に基づく医療機器となります。

【光超音波イメージング装置 LME-01について】

LME-01は、無被ばくかつ造影剤なしで、これまで画像化が難しかった微細な三次元の血管像（血流情報）を短時間で可視化することが可能となります。

測定の際は体表に近赤外パルスレーザー光を照射して、光音響効果により体内の血管から発生する超音波を、独自技術の半球型超音波センサアレイにより検出し、血流の3D 画像を構築するシステムです。

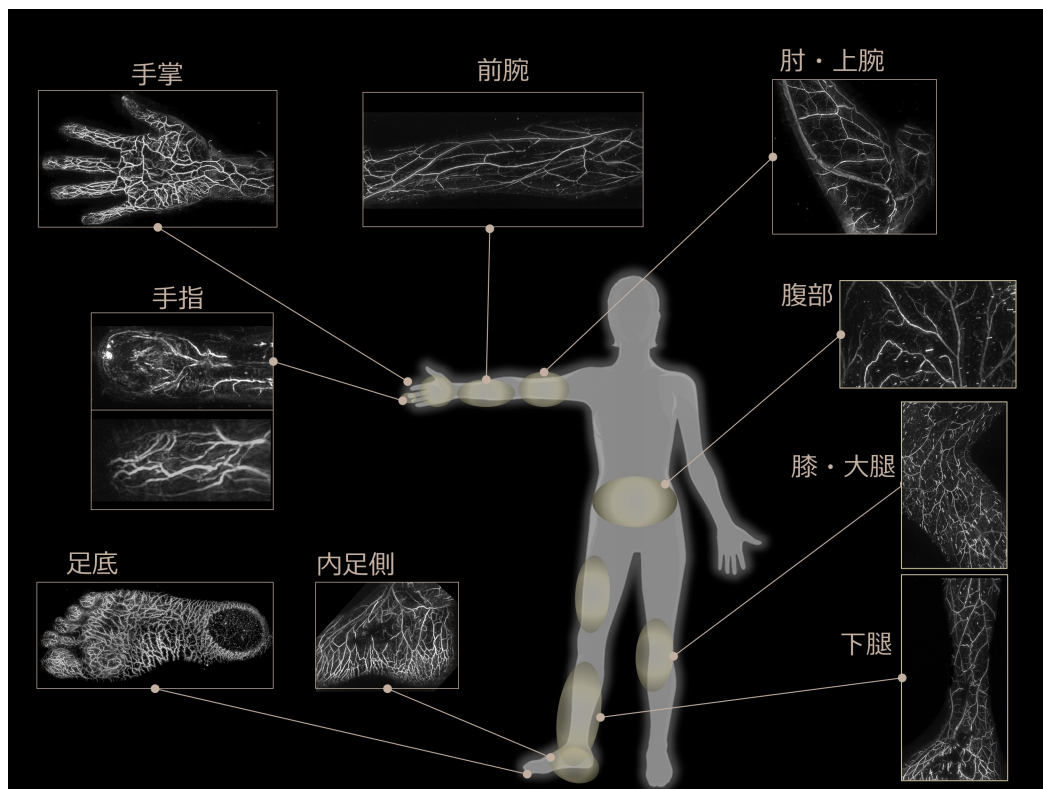
自動スキャンにより、操作者に依存することなく安定した高精細な画像を取得することが可能です。非侵襲、無被ばくというだけでなく、簡便な操作性と再現性により患者と医療従事者への負担を低減し、より快適な診断環境を提供します。

画像のモードは最大180mm×290mmサイズを5分以内で撮影する＜Still撮影＞、血流の動画を撮影する＜Movie撮影＞の機能を有しており、撮影部位や目的に応じた自由な使い分けが可能です。

また、装置導入に際しては、遮蔽工事を必要としないので、設置場所を選ばず設置費用も軽減できます。

本装置はベッド型の検査装置です。受診者がベッド上で臥位または座位の姿勢を取り、ベッド上の撮影トレイに撮影対象の部位を置いたのち、レーザー照射とともに装置内部の半球形超音波センサが平面内でスキャンし、広い範囲を撮影します。取得された超音波信号はリアルタイムで画像再構成され、血管像が得られます。





当社は、独自の光超音波3Dイメージング技術を元に、複数の疾患について大学病院をはじめとする医療機関と共同研究を進めています。これら研究の成果を臨床現場に適用し、更なる適用拡大を目指し医療現場における課題解決と人々の健康な生活の維持、向上に貢献してまいります。

【Luxonusについて】

当社は、キャノンと京都大学が2006年度に開始した文科省イノベーションシステム整備事業（CKプロジェクト）を起源とします。同プロジェクトを引き継ぎ、2014年度から内閣府の革新的研究開発推進プログラム（ImPACT）で開発を進めた光超音波イメージングの装置を実用化するため、2018年12月に設立されました。

本開発は、国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)ならびに国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の資金協力を得て進めております。

【会社概要】

会社名：株式会社Luxonus（ルクソナス）、Luxonus Inc.

事業内容：医療機器ならびに理化学機器に関連する製品の製造・販売

設立：2018年12月

代表取締役：相磯貞和

所在地：神奈川県川崎市幸区新川崎7-7、AIRBIC内 A22

ホームページ：<https://www.luxonus.jp/>

【本リリースに関する報道お問い合わせ先】

eメールアドレス：lux-info@luxonus.jp

株式会社LUXONUSのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/84850